

身近な海の魅力と不思議を探る 京大舞鶴水産実験所の新展開

里海 フィールド科学

京都の海に学ぶ人と自然の絆

山下 洋・益田玲爾・甲斐嘉晃・鈴木啓太・高橋宏司・邊見由美 [編著]

A5判並製 414頁 定価 2,700 円 (税込2970円) ISBN 978-4-8140-0445-4 C3045



書籍詳細ページ

<https://www.kyoto-up.or.jp/books/9784814004454.html>



ご購入申込書

●お申込み数: 冊

書籍代金: 2970 円 (10% 税込) / 冊

送料: 国内 1 配送 1~3 冊 -480 円; 4 冊以上 - 無料

●お名前:

●ご住所: 〒

●お電話番号:

●Email:

■お問い合わせ、ご注文は下記へ

京都大学学術出版会

京都市左京区吉田近衛町69

京都大学吉田南構内(〒606-8315)

電話 075-761-6182

FAX 075-761-6190

URL <http://www.kyoto-up.or.jp>

Email sales@kyoto-up.or.jp

●まえがき [益田玲爾]

第1章 里海を支える環境と基礎生産

- 1-1 気象と海象—季節変化と長期変化 [笠井亮秀]
- 1-2 栄養塩と植物プランクトン—由良川・丹後海の相互作用 [渡辺謙太]
- 1-3 海藻と海草—海の森の多様なつながり [八谷光介]

第2章 動物プランクトンの細やかな環境応答

- 2-1 カイアシ類と浮遊卵仔魚—逆らわず流されず [鈴木啓太]
- 2-2 アミ類—魚類成育場を支える鍵生物 [秋山 諭]
- 2-3 クラゲ類—特異な生活史と大発生 [鈴木健太郎]

第3章 ベントスの知られざる生活史と多様性

- 3-1 日本海のベントス—多様性と漁業 [佐久間 啓]
- 3-2 腹足類を中心とするベントスの生態—遺伝子解析によるアプローチ [井口 亮・喜瀬浩輝]
- 3-3 重要水産資源マナマコ—持続的な利用に向けて [南 憲史]
- 3-4 エビ・カニ類の役割—里海を支える生き物たち [邊見由美]
- 3-5 エビ類の生活史戦略と遺伝的多様性—川から深海まで [藤田純太]
- 3-6 エアカガイ資源の保全と増殖に向けて—七尾湾を例に [仙北屋 圭]

第4章 魚類の生態と里海の利用

- 4-1 日本海の魚類の分布—深海から浅海まで [甲斐嘉晃]
- 4-2 潜水調査でみた魚の生態—魚類相の季節変化と長期変動 [益田玲爾]
- 4-3 魚の学習能力—認知能力と生態そして栽培漁業へ [高橋宏司]
- 4-4 海と川をつなぐ魚—スズキ稚魚の河川利用生態 [富士泰期]
- 4-5 若狭湾に暮らすハゼ類—その多様性と固有性 [松井彰子]

第5章 里海の恵みを未来につなぐ

- 5-1 海の京都の漁業—持続的な資源管理・商品開発・人材育成 [谷本尚史]
- 5-2 初めて分かった遊漁の経済的価値—釣り人目線で海の資源を考える [寺島佑樹]
- 5-3 里海保全における水産認証制度の可能性—生産者と消費者をつなぐ [鈴木 允]
- 5-4 魚・二枚貝からみた里海の再生—都市圏の海、大阪湾からの報告 [山本圭吾]
- 5-5 森から海までの生態系のつながりと沿岸生物—森里海連環学のすすめ [山下 洋]

クロースアップ舞鶴

- 1 沿岸観測—変わらぬ方法と変わりゆく環境 [鈴木啓太]
- 2 全国公開実習の魅力 [邊見由美]
- 3 歴代の教育研究船「緑洋丸」 [鈴木啓太]
- 4 淡水性エビ類の研究を通じて学んだ川の見方 [八谷三和]
- 5 標本館—世界に先立つ 40 万点の魚類標本 [甲斐嘉晃]
- 6 魚市場調査—多様性を見つめ水産業のリアルを聞く [田城文人]
- 7 学生生活と研究の思い出 [金子三四朗]
- 8 飼育棟—魚と人の育つところ [益田玲爾]

里海トピック

- 1 急潮と定置網の被害 [船越裕紀]
- 2 海底湧水と沿岸域の生物生産 [杉本 亮]
- 3 マダイとクロダイの紫外線適応 [福西悠一]
- 4 クラゲを食べる魚たち [宮島 (多賀) 悠子]
- 5 若狭湾はケハダウミヒモ類の宝庫 [齋藤 寛]
- 6 若狭湾からの宝物、「ぐじ」 [横田高士]
- 7 エイ類の多様性 [三澤 遼]
- 8 「丹後とり貝」—初夏を彩る極上の味覚 [谷本尚史]
- 9 若狭のサバと鯖街道—大衆魚のエースが歩む道 [多賀 真]

BOX 1 DNA から分かること—最新の分析手法とフィールド研究への応用 [甲斐嘉晃]

BOX 2 里海における研究者と漁業者の協働—宮津湾のマナマコに学ぶ [澤田英樹]

BOX 3 環境 DNA—1 杯のバケツ採水から探る魚の生態 [村上弘章]

BOX 4 日本の栽培漁業—その歩みと展望 [和田敏裕]

あとがき [山下 洋]

謝辞/用語解説/索引